

新基金 平成26年度県計画 概要

提案団体:高知県医師会

3百万円(平成26年度~27年度)

系統的な医療供給体制の整備に向けた検討事業

〔・医師会役員の旅費、会議事務費等〕

○内容:

「高知県の医療の在り方に関する懇談会(4者会議)」で議論された、県全体での系統的な医療供給体制の構築に向けて、県外大学との連携強化とともに、地域の中核病院と周辺医療機関との有機的かつ効率的な連携の体制を構築するため、県医師会が県外関係者と協議を行うとともに、県内医療機関の参加する検討会を開催する

医師住宅整備事業

111百万円(平成26年度~28年度)

○内容:

〔・医師住宅建設経費〕

高知県医師養成奨学貸付金制度における県内指定医療機関が整備する医師住宅の建設経費について補助する

提案団体:高知市医師会

4百万円(平成26年度)

救急時患者受診システム整備事業

〔・患者情報共有のためのサーバ設置、ソフトウェア開発費〕

○内容:

かかりつけ医と連携病院が事前に患者情報を共有することで、患者急変時に連携病院がスムーズに受け入れられる仕組みを整備する
患者には連携病院を記載した「ブルーカード」を交付し、救急隊はそれにより搬送先を選定する

提案団体:高知大学

155百万円(平成26年度~30年度)

在宅医療・介護連携のためのICTシステム構築事業

〔・サーバー設置、ソフトウェア開発運用費等〕

○内容:

ICTを活用した在宅医療・介護における関係者間での患者情報の共有システムを整備する

旧国庫補助振替事業

385百万円(平成26年度)

○平成25年度までの国庫補助事業のうち、新基金の目的に合致する事業について、H26年度から新基金対応とされたもの
(地域医療支援センター運営事業、看護師等養成所運営事業、医療提供体制推進事業費補助金及び医療提供体制施設整備交付金の一部)

合計:657百万円
(県負担219百万円)